

進木

進木【すぎ】・・・『杉』の語源。ぐんぐんと上に向かって、まっすぐに進む木の様子。



2025年4月 発行

「いじめについて考える授業」

～2年生 version～

4月15日に「いじめ防止推進授業」を実施しました。1年生に引き続き、2年生の生徒の授業を終えての想いを一部紹介します。これから新しいクラスでどのような1年間、いいては残りの2年間を過ごしていくのかについて、真剣に考える姿勢が伝わってきました。本号と合わせて、ぜひとも通信[第4号][第6号]も合わせて読んでください。そして、杉中から「いじめ」をなくしましょう。

「いじめ」をなくすために『あなたができること』『クラスができること』とは…【表面】

「いじめ」について、自分が感じたこととは…【裏面】

いじめをする環境を絶対につくらない。

みんなが嫌な気持ちにならないように、みんなの生活から仲良くなる。

いじめの原因をつくらない。

話し合えるクラスをつくる。 (もしいじめが起これば相談できる環境をつくる。)

いじめの基準を合わせる(3原則) ① ② ③

自分の考えをもって考え直すこと。わがままな人からしてみんなにやさしく
に言っておけること自分だけでもいいと思ってしんどいと思ってる人
に寄り添ってあげること。

・まわりの子になにかあったのかをきいたり、いじめられてる子とその場所から
遠くのところへ移動させて、どうしたのかを聞く。

・先生をよんだり、「やめときや」とか、言ったりする。

・なにかを言う前に、「これを言ってもみんなはいいやな気持ちにならないかな」と
いったように、かくにんする。

クラス全員が仲が良ければ、いじめは、なくな
ると思うので、クラス全員の仲を良くする。
ポスターや紙に いじめ 禁止 と書き、その
ポスターなどをみんなの目に入る所におくことで、
クラスみんなも、意識しやすくなり、いじめがなくなるとおもいます。

いじめが起これるような雰囲気をつくらないことだと思いました。いじめの中でも種類は
あると思うけど、自分ができるだけ明るい雰囲気をつくるような人間になりたいと
改めて思いました。

- ・いじめのないクラスにするために話し合う。
- ・いじめを見つけたらできるだけ注意するように心かける。
- ・みんなが優しい心を持つ。

クラスでいじめが起これるようなクラスにしない。みんなが学校に来て
楽しいと思えるようなクラスにする。学級目標にもあるように、前向きに
明るくメリハリがあって、もしもいじめがあっても協力していじめをなく
すことができるクラスにする。クラスで強い、弱い、という立場をぜったいに
つくりはばきにする。

お互いに優れ合いを持って困っている人がいたら助けるし、自分がなやんでい
るときは手を差し伸べてくれる。そんなクラス、仲間にしたいです。

一人でいる人にもその人を知る努力をしたいと思います。せいかく

みんなと同じクラスになって1年間を過ごすことができるのでみんながみんな
ことも乗り越えられそうに信じているクラスにしたいです。

相手の気持ちを考えて、その人や1人1人の個性、その人を知ること
が大切だと思ってるので、相手を考えて1人1人をもっと知って
関わっていきなりたいです。そのいじりやノリがいいものなのか考えてダメ
だと思ったら止めたくなります。自分がポジティブになって笑顔でいたら
自然とクラス全体に笑顔が広がると思うのでまずは自分から人を笑顔に
クラスができること できる人になりたいです。

イジメをしてはいけないうちでいいから、ぜったいにだめという空気を
つくっておく。

自分はいじめられる側の気持ちがよくわかります。なぜなら、自分と兄と友達で遊んでいるとき、兄が一人おいていやな思いをしていたから、そしてそれを近くで見ているからです。でも、それを自分が注意していじめを止めることができたとき、自分は「注意できる人だ」と自信が湧いていました。

最終的に、いじめは結局ほとんどの人がまづついてしまうということがあった。また、いじめはいつ、どこで起きていけるかわからないから、恐れおののいていじめをなくしたいという気持ちがあった。

いじめの授業何回やるんだろうと思っていたが何回やってもいじめは消えない。だからこの授業をやることでいじめが減るかもしれない。だからめちゃくちゃ大事ななと感じました。本当にいじめをしていい理由をさぐっていい理由なんてないから、いじめがどうしたら無くなるかを考えさせられました。

いじめは本当にいけないと改めて思いました。うちのクラスで現状いじめは起きていないけど、これから絶対に起きないように、みんな楽しく協力し合って立場が平等なクラスにしていきたいなと思いました。いじめが起きていた時に、自分が見ているだけじゃなく助けたいなと思いました。けど、無理に助けようとするとも自分も被害を受けることがあるかもしれないから、気を付けようと思いました。見ているだけでもダメだから入ってもかいてあげるようにしたいなと思いました。

「いじめ、だ」と思っているなくても言われたり、やられたりした人が嫌だと思ってしまうこと、いじめをなくして頭に来たきこんでおくことが大切だと思いました。ぼうか人者にならないために、「いじめ」の時はやめるように行動することが大切だと思います。

1年生のときもいじめの授業は何度か受けたけど、改めていじめはなくなればならないと感じました。みんなが1日1日を笑顔で楽しかったといえるようにしたいです。1人1人を気にかけてくれることが大切なことだと思いました。1年間、みんなと一緒に楽しく過ごせるように今から、できることからやっていきたいなと思いました。

いじめの授業は、1年生でとってきて、だいたいは意識できているけれど、気がぬけてしまった時などは、意識できていないので、いじめにつなげる行動をしてしまうことがあるので、気をぬかず、いじめにつなげるような行動をしないようにしようと思いました。いじめはなくそうと思えばなくせる言葉だから、みんながしっかりといじめをなくしたいと思えばなくせるなと考えました。

自分もクイズとかは「0」だと思ってはいたけど、0に近いだけあって、0ではないことを知っておどろきました。クイズ0にできるように自分ができる最大限のことをこれからしてこうと思いました。

いじめは当事者だけでなく周りでみている人も関係者、ということを確認できた友達同士の話、聞いても相手がどうじゃないの、相手が嫌だと感じるような発言、行動は絶対してはいけないと感じました。

どんなことでも乗り越えられるクラスにしたい
クラスで「強い」「弱い」という立場を絶対につくらない
みんなが楽しく協力し合えて立場が平等なクラスにしたい

1人ひとりの意識でクラス・学校・社会を変えられる